

平成31年度 日野市立日野第三小学校経営重点計画		自己評価シート		平成31年4月公表	
★学校教育目標 ◎ よく考える子 ◎ 思いやりのある子 ○ 体をきたえる子 ○ 最後までやりぬく子				★重点計画の概要	
★目指す学校像（ビジョン）				①確かな学力の育成・・・授業のユニバーサルデザインの視点を取り入れ主体的・対話的で深い学びの実践を行う。 ②豊かな人間性の育成・・・思いやりの心を育み、社会生活の規範を身に付ける。学級環境を整え居心地のよい学級を作る。 ③健康・体力の向上・・・学期ごとの重点取り組みを通して体力の向上を図る。家庭と連携して基本的な生活習慣を身に付ける。 ④開かれた学校・特色ある学校・安全な学校・・・社会人講師を活用し、英語活動・地域（ふるさと）学習を進める	
【めざす児童・生徒像】 ・よく考える子（知育） ・思いやりのある子（徳育） ・体をきたえる子（体育） ・最後までやりぬく子（知・徳・体が育つ基礎）					
【めざす学校像】 ・子供たちが、粘り強く学び合い、成長する学校 ・教職員が、熱意とプロ意識を持って実践する学校 ・学校・保護者・地域が、それぞれの役割を果たし連携し合う開かれた学校					
【めざす教師像】 ・努力する心身共に健康な教師・子供から学ぶ謙虚な教師・プロ意識を持った教師・誠実で礼儀正しく、人間性豊かな教師・教職員・保護者・地域と連携し、児童の育成にあたる開かれた教師					
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策		
豊かな人間性の育成	生命尊重の精神を育成するために、道徳教育を充実させ、全教科・領域で取り組む。	全教育活動を通して道徳教育を推進し、豊かな心の育成を図る。また、児童・生徒の主体的・協同的な学習を取り入れ、生命の尊さを実感的に学べるようにする。	・居心地のよい学級を作るために日常の学習や生活場面だけでなく、学期に2回のアンケート調査を基に子供たちの声に耳を傾ける。	4 95%以上の教員が児童理解に努めたか	4 児童アンケートで「学校は楽しい」と答える児童が、90%以上
			・「考え、議論する道徳」になるように発問や学習形態を工夫し、道徳的判断力、心情、実践意欲の育成を図る。 ・道徳教育充実のために「書く活動」を取り入れ、自己肯定感を高め、命の尊さを感じ自他を大切にしている心情を養う。	3 90%以上の教員が児童理解に努めたか 2 80%以上の教員が児童理解に努めたか 1 80%未満の教員が児童理解に努めたか	3 児童アンケートで「学校は楽しい」と答える児童が、80%以上 2 児童アンケートで「学校は楽しい」と答える児童が、70%以上 1 児童アンケートで「学校は楽しい」と答える児童が、60%以上
学び	思考力、判断力、表現力を育成するために全教科・領域で言語活動を充実させ、自他の考えを比較しながら互いに考えを深め合う学習を展開する。	確かな学力の育成のために全教科・領域で「話す・書く」活動を取り入れ、自分の考えをもち、学び合い・教え合う学習を行う。	・論理的思考力や書く力などの表現力を向上させるために、国語科の読む領域を通してユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行う。	4 95%以上の教員がユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行ったか 3 90%以上の教員がユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行ったか 2 80%以上の教員がユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行ったか 1 80%未満の教員がユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行ったか	4 児童アンケートで「授業がわかりやすい」児童が90%以上 3 児童アンケートで「授業がわかりやすい」児童が80%以上 2 児童アンケートで「授業がわかりやすい」児童が70%以上 1 児童アンケートで「授業がわかりやすい」児童が70%未満
			・学び合い活動を充実させ、表現力の向上のために、週1回20分間のフリートークに取り組む。	4 95%以上の教員がフリートークに計画通り取組むことができたか 3 90%以上の教員がフリートークに計画通り取組むことができたか 2 80%以上の教員がフリートークに計画通り取組むことができたか 1 80%未満の教員がフリートークに計画通り取組むことができたか	4 児童アンケートで「自分の考えを伝えられる」児童が90%以上 3 児童アンケートで「自分の考えを伝えられる」児童が80%以上 2 児童アンケートで「自分の考えを伝えられる」児童が70%以上 1 児童アンケートで「自分の考えを伝えられる」児童が70%未満
地域・ふるさと	地域教材・人材を活用し、体験的・課題解決的な学習を通して、地域や学校に対する誇りと愛する気持ちを育て、地域のために役立ちとうとする意欲を育てる。	地域や学校に対する誇りと愛する気持ちを育て、地域のために役立ちとうとする意欲を育てるために、地域の人と出会い・関わり合いながら、生活科・総合的な学習の時間のふるさと学習『日野大好きプロジェクト』を充実させる。	・年間指導計画を作成し、学年の発達段階に応じて、地域教材・人材を活用した学習を行う。 ・学習したことを地域へ発信・還元ができる学習活動を展開する。	4 95%以上の教員が地域と結びついた学習を行うことができたか 3 90%以上の教員が地域と結びついた学習を行うことができたか 2 80%以上の教員が地域と結びついた学習を行うことができたか 1 80%未満の教員が地域と結びついた学習を行うことができたか	4 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が90%以上 3 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が80%以上 2 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が70%以上 1 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が70%未満
			・ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』に全学年・学級をあげて生活科・総合的な学習の時間で取り組む。 ・総合的な学習の時間では、自ら課題を設定し探究に取り組み、課題解決学習を展開する。	4 95%以上の教員が課題解決学習を行うことができたか 3 90%以上の教員が課題解決学習を行うことができたか 2 80%以上の教員が課題解決学習を行うことができたか 1 80%未満の教員が課題解決学習を行うことができたか	4 児童アンケートで「ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」児童90%以上 3 児童アンケートで「ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」児童が80%以上 2 児童アンケートで「ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」児童が70%以上 1 児童アンケートで「ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」児童が70%未満
健康・体力向上	体力の向上の推進を図り、心身共に健康な子供の育成を推進する。	学期ごとに重点取組を設定し、体育の授業や遊びの時間で体を動かす楽しさを実感できるようにする。	・体育の授業に日常の遊びの充実につながる運動を取り入れ、体力テストの結果を基に体育の授業の充実を図る。 ・体力向上週間を学期ごとに複数回設定し、体育の時間以外にも積極的に運動に親しむ態度を育てる。	4 95%以上の教員が積極的に運動に親しむ機会を設けることができたか 3 90%以上の教員が積極的に運動に親しむ機会を設けることができたか 2 80%以上の教員が積極的に運動に親しむ機会を設けることができたか 1 80%未満の教員が積極的に運動に親しむ機会を設けることができたか	4 児童アンケートで「体を動かすことが好き」な児童が90%以上 3 児童アンケートで「体を動かすことが好き」な児童が80%以上 2 児童アンケートで「体を動かすことが好き」な児童が70%以上 1 児童アンケートで「体を動かすことが好き」な児童が70%未満
生活	あいさつや言葉遣いを大切に、相手の立場に立って考えられる態度を身に付ける。	日常生活の中で、あいさつや言葉遣い、～さんを意識しながら相手の立場や気持ちに立った言動を身に付け、適切に実行できるようにする。	・各学級の授業や活動の中で言語環境を整え、あいさつや場に適切な言葉遣いができるように指導する。 ・目標の達成を学級ごとに評価する。	4 95%以上の教員があいさつや言語環境を整えるよう努めたか 3 90%以上の教員があいさつや言語環境を整えるよう努めたか 2 80%以上の教員があいさつや言語環境を整えるよう努めたか 1 80%未満の教員があいさつや言語環境を整えるよう努めたか	4 児童アンケートで相手のことをかんがえて行動できた児童が90%以上 3 児童アンケートで相手のことをかんがえて行動できた児童が80%以上 2 児童アンケートで相手のことをかんがえて行動できた児童が70%以上 1 児童アンケートで相手のことをかんがえて行動できた児童が70%未満
			・様々な活動（委員会・クラブ・学級活動）や行事に対して、児童の発想を大切にしながら明確なめあてをもたせる。 ・活動を通して自分の役割を自覚し取り組ませる。	4 95%以上の教員が対話を大切にしながら教育活動に取り組めたか 3 90%以上の教員が対話を大切にしながら教育活動に取り組めたか 2 80%以上の教員が対話を大切にしながら教育活動に取り組めたか 1 80%未満の教員が対話を大切にしながら教育活動に取り組めたか	4 児童アンケートで「めあてにむかってみんなと協力して行事に取り組むことができたか」児童が90%以上 3 児童アンケートで「めあてにむかってみんなと協力して行事に取り組むことができたか」児童が80%以上 2 児童アンケートで「めあてにむかってみんなと協力して行事に取り組むことができたか」児童が70%以上 1 児童アンケートで「めあてにむかってみんなと協力して行事に取り組むことができたか」児童が70%未満
特別活動	集団や社会における生活および人間関係をよりよく形成するために主体的・創造的な活動を展開する。	集団の一員としての大切なことはみんなで話し合い、ルールを決めて自分たちで責任をもって行動し、学校をよりよくしようとする態度を育てる。	・様々な活動（委員会・クラブ・学級活動）や行事に対して、児童の発想を大切にしながら明確なめあてをもたせる。 ・活動を通して自分の役割を自覚し取り組ませる。	4 95%以上の教員が対話を大切にしながら教育活動に取り組めたか 3 90%以上の教員が対話を大切にしながら教育活動に取り組めたか 2 80%以上の教員が対話を大切にしながら教育活動に取り組めたか 1 80%未満の教員が対話を大切にしながら教育活動に取り組めたか	4 児童アンケートで「めあてにむかってみんなと協力して行事に取り組むことができたか」児童が90%以上 3 児童アンケートで「めあてにむかってみんなと協力して行事に取り組むことができたか」児童が80%以上 2 児童アンケートで「めあてにむかってみんなと協力して行事に取り組むことができたか」児童が70%以上 1 児童アンケートで「めあてにむかってみんなと協力して行事に取り組むことができたか」児童が70%未満